

いつもお世話になっております。
ネクスト・イットの吉政でございます。

今号は世界2500万ユーザに達したOSSグループウェア世界トップクラスのシェアをもつOpen-Xchangeの事例と月例のセミナーについてお届けします。

Open-Xchangeのうたい文句はクラウド向けに最初から設計された業界初のOSSグループウェアという側面もあり、製品的にも価格的にもクラウド向けです。特にライセンスはSaaSライセンスと言う、クラウド事業者の初期投資を大きく抑えた価格体系が特徴です。世界1位のホスティング業者を初めに世界の主要なホスティング業者が採用をしています。

今号では2月と3月分のOpen-Xchangeセミナーのご案内を行います。弊社の説明をまだ聞いたことが無い方やデモンストレーションを見た事が無い方は、是非この機会にご参加ください。

※第5回データセンタ向けOpen-Xchangeセミナー（2月東京開催）

2月24日開催

※第6回データセンタ向けOpen-Xchangeセミナー（3月東京開催）

3月24日開催

<http://nextit.jp/seminar/ox20110224.html>

3月は第2回 低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナーも開催します。低帯域回線を活用した遠隔バックアップの事例と10分間リカバリデモが見所です。1月の本セミナーに参加できなかった方は是非こちらもご参加ください。

※第二回低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナー（3月東京開催）

<http://nextit.jp/seminar/bcp00303.html>

それでは、今号も宜しくお願いいたします！

—目次—

【1】 【Web更新情報】

- ・ Open-Xchange事例公開

【2】 【セミナー関連】

- ・ 第5回/第6回データセンタ向けOpen-Xchangeセミナー（2月東京開催）
- ・ 第2回低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナー（3月東京開催）

【3】 【戦略コラム】

第九回：Open-Xchangeの意外な事実 ～日経ITproの記事より～

—詳細と解説—

【1】 Web更新情報

■ Open-Xchange事例公開

Open-Xchangeは2011年1月末現在で、全世界で25百万のユーザの実績があります。オンプレミス版ではケルン大学病院（ドイツ）、ペルー政府（ペルー）、マックス フランクフルト生物物理学研究所（ドイツ）、ナミビア工芸学校（ナミビア）、ケチカン ゲートウェイ自治区（北米）、メン オン ザ ムーブ（北米）、ドイツ緑の党（ドイツ）、ボーメルト アンド ボーメルト（ドイツ）、ファースト ネットワーク モーゲージ（北米）等があり、SaaS版 1&1社（ドイツ）[8百万ユーザ]、ネットワーク ソリューションズ社（北米）、OVH社（フランス）、Hostpoint社（スイス）、バーサテル社（キャリア）等があります。（2011年1月時点）また、日本国内では某大手銀行などでの実績があります。

なお、以下のページでは各原文（リンク先は英文）のコンテンツをご紹介します
ページ(1)

ます。

<http://nextit.jp/product/ox/success.html>

※日本市場での事例も引き続き募集しています。お気軽にお声掛けください。

【2】セミナーの関連

■ [第5/6回] データセンタ向けOpen-Xchangeセミナー

(2011年2月24日/3月24日開催 (無料) ※技術解説あり)

急速に発展するクラウドコンピューティング、モバイル化時代への対応策として、社内情報伝達の確実性、共同作業最小限のツール整備が急務となりつつあります。Open-Xchangeは、企業が最小限必要としているメール機能、ドキュメント共有等を一括に、スムーズにて簡単にコストパフォーマンスを実現したグループウェアです。このセミナーでは、Open-Xchangeの効果的な運用方法を、技術解説やデモンストラレーションやQ&Aセッションを交えてご説明します。

【第5回：2月24日開催/第6回：3月24日開催】
詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/ox0224.html>

■ 低コストで実現する遠隔バックアップ&BCP対策セミナー

(2011年3月3日開催 (無料) ※技術解説あり)

昨今話題に上がっているBCP (事業継続計画) の実施については、膨大なコストがかかることから、以前より必要性は感じられていますが、なかなか導入できないお客様多いのが実情です。しかしながら、最新のテクノロジーを搭載したZ-BYS (ジービス) を活用することで低コストでのBCP対策を実現できます。このワークショップではTBを超えるシステムをベストエフォート回線で遠隔バックアップ&BCP対策を低コストで実現した事例と、そのコアテクノロジーを解説します。お忙しい折、恐れ入りますが、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/bcp00303.html>

【3】戦略コラム

■ 【第九回】 Open-Xchangeの意外な事実 ～日経ITproの記事より～

弊社がOpen-Xchangeの独占販売契約を締結した後、Open-Xchange 社長兼CEO Rafael Laguna de la Vera氏が来日しました。その際に、日経ITproの副編集長高橋信頼氏に取材いただきました。その時の記事に二つほど意外に知られていない事実がありますので、ご紹介したいと思います。

※日経ITproの記事については以下をご覧ください。
<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101112/354101/>

今回ご紹介したいのは以下の2点です。

A) Open-Xchangeのルーツ
B) Outlookからの移行支援ツール「Open-Xchange Microsoft Outlook Uploader」を日本の新生銀行と共同開発し、無償公開している。

B) については、日本ではほとんど知られていない事実ですが、世界2500万ユーザの実績があるOpen-Xchangeですので、海外ではかなり知られているのではないかと思います。なお、「Open-Xchange Microsoft Outlook Uploader」については以下のサイトをご覧ください。

※「Open-Xchange Microsoft Outlook Uploader」

next18

http://oxpedia.org/wiki/index.php?title=OX_Outlook_Uploader

移行ツールについては、やはり日本語環境のシステムからの移行なので、日本製の移行ツールだと安心ですよ。OutLookとの実質コスト差は30-40%減になるそうです。OutLookをご利用のお客様で、ハードリプレイスや保守更新が近い方は是非ご検討ください。

A)についてですが、Open-Xchange社の創業メンバーはSUSE Linuxのコアメンバーと同一メンバーです。しかも、筆者が日本のSUSE Linux事業の責任者だった時にSUSE Linuxのコアメンバーは元々、ノベル・ドイツの出身だったと聞いていました。

つまり、プロダクトの流れとしては、NetWare⇒SUSE LINUX⇒Open-Xchangeとなります。NetWareと聞いて、「懐かしい！」と思う方が多いと思います。NetWareはIAサーバOSの草分け的な存在で、高速かつ堅牢がウリのOSでした。そして、SUSE Linuxは「KAIZEN」というクオリティ管理システムにより設計・パッケージングされている非常に堅牢なLinuxとしてIAサーバからUnix、メインフレーム上で動作する完成度が高いOSです。このメンバーが設計した業界初のクラウド使用を前提に設計されたグループウェアですので、非常に安心してクラウド環境や大規模環境で使用することができます。新生銀行様のような大手銀行様で使用されているのも分かるような気がします。まだ、Open-Xchangeの説明を聞かれた事が無い方は、是非、以下のセミナーにご参加ください。

※データセンタ向けOpen-Xchangeセミナー

【第5回：2月24日開催/第6回：3月24日開催】

詳細は⇒ <http://nextit.jp/seminar/ox0224.html>

(吉政 忠志)

編 | 集 | 後 | 記 |

現在、社内ではAstaro Security GatewayとOpen-Xchangeのホワイトペーパーの公開準備を進めています。公開でき次第、このメールマガジンでもご案内いたします。是非、楽しみにしててください。(吉政)

=====
メール配信元：ネクスト・イット株式会社 「ネクスト・イットNEWS」編集部
発行人：営業推進本部 谷尾 真人
編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志
東京都品川区南品川2-4-5NAビル TEL:03-5783-0702 FAX: 03-5783-0734
URL:<http://nextit.jp/> MAIL: info@nextit.jp
=====

※今後、弊社からのご案内が不要の場合は、誠に恐れ入りますがこのメールの返信で『ご案内メール不要』のご連絡をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

=====
(C) Next IT Inc., All Rights Reserved ==